功績・功労をたたえて

● 2022 Canoe Marathon World Championships K１ Junior Men（22.6km）出場　※ 日本代表

小田 朔至（おだ さくと）さん（綾部高校１年・加悦中卒）

由良川で練習する小田さん

５月の「全日本カヌーマラソン選手権大会兼 2022 海外派遣選手選考会」で３位となり、日本代表に選出された小田さん。９月末にポルトガルで開催された大会には、初めて経験するマラソンでの出場も「海外選手との対戦を楽しみにしていた」と話します。迎えたレースでは体格の良い海外選手のスピードに「スタートから速く、世界との差を感じました」と大会を振り返ります。今後の目標を「来年３月の海外派遣選手選考会で良い成績を残し、日本代表に選ばれるように頑張りたいです」と語ってくれました。

● 地方教育行政功労者表彰

塩見 定生（しおみ さだお）さん

前与謝野町教育長の塩見定生さん（上山田）が、文部科学大臣から地方教育行政功労者表彰を受賞されました。

塩見さんは、町内の中学校長を歴任後、平成20年４月に与謝野町教育委員会指導主事、26年からは教育長として、令和３年６月末の退任まで約13年の長きにわたり町教育行政の推進に寄与されました。学校教育をはじめ、社会体育や地域文化などの社会教育の推進にも尽力された功績が認められ、今回の受賞となりました。長年の功績に心から感謝申し上げます。

今月のおでかけスポット

かや山の家

～ ココロもカラダもリフレッシュできる宿 ～

温江集落の突き当たりにあるかや山の家は、令和２年度に大規模改修を行いリニューアルオープン。宿泊施設とレストラン（ヤマノウエ食堂）は、町内外から多くの方々に利用いただいています。

中でもおすすめはジビエ料理。与謝野町内で年間１千頭以上も有害駆除されているシカやイノシシを有効活用したいという思いから、併設するジビエ解体加工施設で処理した町内産のジビエ肉を使用した料理を提供しています。他にも「お米や野菜なども町内産にこだわり、調味料は無添加のものを使うことで、安心して食べていただけるように心がけています」と管理人の青木博（あおき ひろし）さん。

おいしい空気とご飯で心と体をリフレッシュしてみてはいかがでしょうか。

上／木のぬくもりと差し込む光が心地よいホール
左／地元の食材をふんだんに使用した食事

■ **営業期間**（レストラン営業）
昼（水～土）午前 11 時～午後２時
夜（水～土）午後６時～９時　※ 予約制
※ 変動あり。お電話にてご確認ください
■ **定 休 日**　月曜日
問　かや山の家 ☎ 43-0860

がんばってます！消防団

編集 ● 第７分団

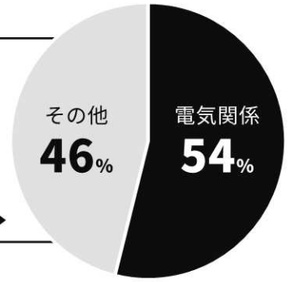
地震火災対策できていますか？

～ 地震火災は大規模火災につながる可能性が ～

大規模地震発生時には、火災が同時に多くの場所で発生するおそれがあるため、消防力が不足することで消火活動が困難な状態となり、住宅密集地などでは大規模な火災につながる危険性が高くなります。

なぜ対策が必要？

近年の大規模地震発生時には、電気に起因する火災が多く発生しています。平成 23 年３月 11 日に発生した東日本大震災における本震による火災では、原因の特定されたもののうち過半数が電気に起因したものでした。（出典　令和２年版消防白書）

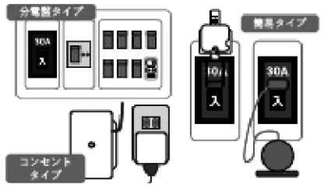


東日本大震災における火災の発生原因 ▶

▶ 事前の対策

- □ 住まいの耐震性を確保する
- □ 家具等の転倒防止対策（固定）を行う
- □ 感震ブレーカーを設置する
- □ ストーブ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かない
- □ 住宅用消火器等を設置し、使用方法について確認する
- □ 住宅用火災警報器を設置する

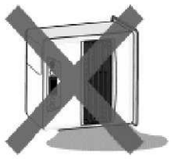
※ 連動型住宅用火災警報器などの付加的な機能を併せ持つ機器を推奨



感震ブレーカー

▶ 地震直後の行動

- □ 停電中は電化製品のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜く
- □ 石油ストーブやファンヒーターからの油漏れの有無を確認する
- □ 避難するときはブレーカーを落とす


油漏れの有無を確認

▶ 地震からしばらくして（電気やガスの復旧、避難から戻ったら）

- □ ガス機器、電化製品および石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認する
- □ 再通電後は、しばらく電化製品に煙やにおいなどの異常がないか注意を払う

▶ 日ごろからの対策

- □ 自分の居住地での地震火災による影響を把握する
- □ 消防団や自主防災組織等へ参加する
- □ 地域の防災訓練へ参加するなど、発生時の対応要領の習熟を図る

防災訓練に参加